

第十一回お茶の水小学校・幼稚園施設整備検討協議会 議事要旨

日 時：平成 30 年 3 月 26 日 18 時～19 時 30 分

会 場：お茶の水小学校 2 階ランチルーム

出席委員：名簿順（敬称略） ■出席 □欠席

■山崎充彦委員 ■須賀雄一郎委員 ■篠田加奈子委員 ■永田佳織委員 ■志摩さおり委員
■倉木嘉代子委員 ■高山肇委員 ■角谷幹夫委員 ■西角邦夫委員 ■影山純子委員
■角谷幸男委員 ■中村榮太郎委員 □渡邊圭一委員 ■石澤長一郎委員
■木村美佐子委員 ■小林泰治委員 ■田近恭一委員 ■土屋希美委員 ■五味美智子委員
■菅野豊委員 ■角谷幸子委員 ■小林かおり委員 ■浅川宏委員 ■小川賢太郎委員

傍聴者：4名

事務局：■小池正敏 ■佐藤久恵 ■赤石晃朗 ■田島学 ■早川陽平 ■佐藤雅宏

山下設計：■原田聡 ■荒木了 ■草野萌

議事：

1. 開会あいさつ（会長）

2. 配布資料の確認（事務局）

- ・配置計画案
- ・作業部会資料（参考資料）
- ・作業部会調整用資料（参考資料）

3. 作業部会（小委員会）についての報告

- ・細部について、学校、教育委員会、設計、保護者で議論をするための作業部会を、3月9日（第1回）、3月19日（第2回）に開催した。基本的には学校（使用する側）の要望を含めて事務局が集約し、文字ではわかりづらいので設計会社が図面に反映した。主な内容は、体育館の規模（ミニバスケットコート2面）、特別教室の数や各教室の大きさ、記念品保管用の部屋の確保、幼稚園の1階配置、屋内プールなどの要望を反映した。3月9日に図面を配付し、3月19日に図面を見ながら細かい部分について話し合った。教室に関しては、1つの教室を多用途に使うと良いという話が挙がった。配置計画に関しては、計画案②（以下○案と表記）が良いという話が比較的多く、続いて①案、③案という順番で希望が出された。作業部会は継続したいが、年度が切り替わる時期を迎えるため、これまでの経過報告をするために協議会の開催をお願いした。（部会長）
- ・参考資料の縦の表（面積比較表）は、左から、現状の校舎、学校要望を受けて調整中の要望案Ⅱ、要望をできるだけ反映した計画案②、計画案③を比較した表である。計画案①に関しては間に合わなかったため添付していない。要望案Ⅱのポイントは、従前から普通教室は各学年3教室に対応できるように18教室と考えてきたところ、学校から表現室、学習室、生活教室の要望があったため、多目的クラスルームと調整して15教室としている点。また、山崎会長からも説明があった通り、体育館の規模は規定のミニバスケットコートが2面欲しいという要望だったので、現状は270m²のところ782m²取っている。これらの要望を反映した、②案、③案の図面を添付している。これらは確定した図面ではなく、検討材料として要望を反映した図面で

ある。面積表、図面はないが①案も同様の面積で作成可能である。(事務局)

- ・以上の説明や作業部会に対する意見、質問はあるか。(会長)
→特になし。

4. 近隣についての報告

- ・前回協議会で、お茶の水小学校の改築整備について近隣の方からご意見があったことを報告した。その後近隣に3月9日に計画の説明を行い、4軒中3軒の方と話すことができ、残りの1軒の方からは文書をいただいた。過去に4軒の方々が自宅ビルを建て替えた際、校庭への日当たりやビル風の影響を懸念して学校やPTAから階高を抑えて欲しいという要望された経緯があり、錦華小OBということもあり、実際に5階建ての計画を4階建てに変更した。子どもたちの活動を目にしたり、音や気配を感じられたりすることを好ましく感じ、改築には協力したいと考えてくださっているが、自建物で影を作る計画はこれまでの配慮を考えると到底考えにくい。①案、②案、③案で今後議論が進むのならば、②案で進めて欲しいという要望があった。(事務局)
- ・近隣のご意見は②案しか受け入れられないということなのか。(委員)
→現状の①～③案であれば、②案ならば賛成できる。その他の案(①案～③案以外のもの)、例えば現状の建て方ならありうるという考え方。(事務局)
- ・②案以外は嫌ということなのか。(委員)
→②が良いということと、③が受け入れられないという理解。交渉はできるかもしれないが、②が希望であった。(事務局)
- ・区の建物で法的には全然問題ないと思うが、近隣の方の話をすべて受け入れることが良いのか。近隣の意見で②案に決めるのはおかしいと思う。(委員)

5. 意見交換

【配置について】

- ・作業部会の中で②案の賛成が多い根拠を教えて欲しい。(委員)
→考え方としては、①、②案と③案という比較があり、一つは③案の錦華公園との接続部分の安全面について、可動部分が多いほど事故などの危険が伴うのではないかという話、もう一つは現状では錦華公園の整備の話が進んでないので、公園と接続した場合の利用方法が想像できないこと。先日夜間に不審者が校庭に入ったこととの情報もあり、学校と公園が区切られていたほうが日中使う際にも安全なのではないかという話。錦華公園とつながるといっても、ただつながっているだけでは遊びづらい。幼稚園に関しては錦華公園側に扉があればこれまでのように行き来できるので、運動会を含めた一時的な接続は考えなくても良いのでは、との流れになった。さらに採光の問題で、南中した時に陽が当たる時間がある方が、まったく当たらない前提よりは良い、今後周辺の計画次第で日影になるのではないかという指摘もあったが、現状で日が当たっているほうが良いということである。(部会長)
→今の説明で理解した。錦華公園との接続面が広く、連携しやすさを考えて③案が良いと言ったが、学校や児童保護会が現状で錦華公園を安全面で心配と感じているのなら、広く接続しない方が良いと理解した。②案でもピロティ部分で公園と学校がつながっている。配置を決めてから、錦華公園の利用について、学校と公園との利便性を合わせて考えればよい。ここでまず配置案を決める必要がある。(委員)
- ・前回、安全性に対してフェンスなどを示して欲しいと意見を述べたが、それを踏まえた上の結論なのか。(委

員)

→実際にどういふフェンスを使うという提示は受けていない。部会としては、錦華公園との接面が広くなり、例えば門をつけるのであれば可動するので、リスクが高まると思っている。また、公園とつなげたときに安全である確証がないまま進めても良いことがないと考えている。(部会長)

・保護者会の意見である安全性を考慮しての②案は全面的に賛成である。③案は、錦華公園と図面上一体化して見えるが、しっかりとした壁を作って安全性を確保するのであれば利便性は高くない。それならば②案で校舎を使って安全性を確保した方が良いと思う。(委員)

・桜の木はどうなるのか。(委員)

→まだ検討しきれていないが、現状の桜に関しては樹木調査をしたいと考えている。老朽度の高い場合、樹種は変えずに植え直すことを考えている。(事務局)

→現状の樹木を生かさないので。(委員)

→残したい気持ちはあるが、樹木調査の状況によって考える。(事務局)

・桜の木はその通りで、西神田小学校の校門の桜を残して植えたが、樹勢が落ちてしまった。あまり樹勢がないものを残しても立派にならないと思うので、よく調べて判断した方が良いと思う。(委員)

・子どもたちにとって安全性が確保されるかどうかが一番大事。樹木医などの専門家に判断してもらって十分な安全性が確保されるのであればそのままの可能性もある。しかし、詳細な調査をしないとわからないので、疑わしい状況の場合は安全性を第一に考えて判断する。(事務局)

・②案の明治大学側が坂になっているが、ちょうど角の部分ほどのくらいの高さか。(委員)

→大体、今の既存の校庭のグラウンドの高さより 1.2~1.5m 高い。高さとしては 1 階程度。(山下設計)

・スロープの入口の角度が急だが、安全に通行できるのか。(委員)

→2 tトラックの軌跡を描いて回れることを確認している。出ていく方向は一方通行に沿った方向で問題ない。入る際もこのスペースで問題ない。いずれにしても外構周りは案が確定してから詳細に検討し、安全は確保する。(山下設計)

・②案のピロティ部の高さは。(委員)

→ピロティの高さは梁下で 3m は確保できる。(山下設計)

→ピロティがこのまま残るかも議論しなければいけない。(会長)

→ピロティは残るのではないかと。(委員)

→場合によってはそうではない。(会長)

→そうなると公園との接続面がなくなるのではないかと。(委員)

→他に作ればいい。それはこれからの議論。(会長)

・坂を上がっていくと学校内が見えるし、ものが投げ込まれる懸念がある。特に錦華公園は完全に上にある。坂の高さを考えないと、どの案にしても怖い。(委員)

・錦華公園とピロティの下のレベルは一緒か。(委員)

→ほぼ同レベル。(山下設計)

→ただ、道路からは少し下がるということで、現状のイメージと一緒にいいか。(委員)

→その通り。(山下設計)

・公園の安全性を考えてなるべく囲いたいとの意向が強い印象がある。それから、教室の大きさ、体育館の配置を考えても②案が総合的に見て良いという意見が多いと思う。内容については、配置が決まってから、近隣や区民の意見もいただいて決めたい。長年、近隣が学校に協力していただいており、何十年も残る物なの

でみなさんに気持ちよく見守っていただく施設を作ったほうが良いと思うので、配置は②案を基本として内容をこれから詰めていければよいと思っているがどうか。(会長)

→決を採った方が良い。(委員)

→できれば多数決でなくみなさんの総意ということで決めたい。(会長)

→挙手で決めたほうが良い。(委員)

→意見があったので挙手をお願いします。(会長)

(多数挙手)

・多数、大勢ということで協議会として②案と決めさせていただく。(会長)

・配置案に関しては再度議論することなく、次に進むのか。(委員)

→その通り。補足だが、協議会で決まった意見は強く言ってもらうが最終決定は区が行う。(会長)

・普通教室が 15 教室になっているが計画では 18 教室ではなかったのか。(委員)

→生活科室、表現室、学習室の学校の要望部分を、多目的クラスルームと兼用しながら 18 教室にも対応できる案としていったん整理した。(事務局)

・今の 15 教室に関してだが、15 教室が良いという話をしたわけではなく、数字の上では 15 教室に整理する方向になったということ。今後 10 年、20 年で建て直すことはないし、教育上、教室は多い方が使い勝手が良いという話があるのでできれば 18 教室が良い。面積表の教室に関しては作業部会で話し合いをして、結論が出た数字ではない。数字的に 11,000m²になっているが、各学年が 3 教室で授業を展開する、マーチングバンド 80 名分の楽器を収納する、特色のある学びの和太鼓のための部屋を用意するなどが可能な校舎についてこれから詰めていく。(部会長)

・今の小学校にはアフタースクールがある。昔から考えると子どもが使っている時間帯とアフタースクールなどの施設としての機能も重要となってきている。千代田小のアフタースクールでは百数名を預かっていることを聞くと、児童数は多くはなくてもアフタースクールを利用する子どもは増えるのではないかと、これからのことを考えると校舎内だけでなく錦華公園内にも施設を設け利用できるのではないかと考える。公園の協議会が立ち上がらないのは行政があまりにも怠慢である。もう少し協力的に動いて欲しい。公園の危険面を保護者の方が心配されるのは当然であり、25 年前に幼稚園が建った時も心配した。これまで事故がなかったのは、現場の先生方、主事さんが気を配っていたから。施設面の危険な部分は人の手を多く入れて行政でフォローする方針も検討して欲しい。公園が危険な場所というのも悲しいことなので、安全で明るく子どもたちも安心して利用できる公園を地域に展開していただきたい。今の状況では学校の計画とバランスの悪い進行状況となっている。ぜひ公園の検討も早急に進めていただきたい。学校と公園が危険だからと壁を作って区切るのが安全で良い方向なのか、うまく活用できる知恵はないのかということ行政でも提案いただければと思う。(副会長)

・ただ、この会では②案に挙手があって決まったことを確認して欲しい。(委員)

→校舎の配置については②案で決定した。(会長)

・中身についてこれから詰めていく必要があり、教室などの大きさは作業部会で検討しているが、校長先生から何かあればうかがいたい。(会長)

→授業の形態が従来と変わってきており、1 クラスでも 3 展開授業をするなど、教室が多い方がありがたい状況になっている。一方、転用できる教室は転用しなければいけない。多様な活動が行える環境づくりが求められる場面が増えている。子どもたちが直接活動する部分とそれをバックで支えている部分(準備室、教材室、倉庫)などをこれから検討していただくなかで確保して欲しい。一度決めた広さの中で何年か我

慢するのではなく、できた段階で施設にゆとりがあるように進めて欲しい。音の問題を含めて良い環境づくりを進めて欲しい。(校長)

- ・あくまでも目安として施設整備方針としての面積を示しているの、必要とされる機能は作業部会等で意見を出しながら決め、面積は大きくなったり小さくなったりする可能性があることは共通認識として持っていて欲しい。(事務局)

【体育館・プールについて】

- ・体育館の大きさを確保するために地下に配置している。また、プールは屋上にあるが、これらに関して意見があれば聞きたい。地下2階に体育館があって、地下1階まで吹き抜けている。広さは学校と保護者の要望で決まったという理解で良いか。(会長)
→良い。(部会長)
- ・体育館のおおよその高さはどのくらいか。
→梁下で8m。(山下設計)
- ・最初は10mでバドミントンができるようにと思ったが、横に広くミニバスケットコート2面を取ろうと思うと地下になり、高さが取れない。生徒が使いやすい方が良く思う。ただ、図面ではドライエリア部分でしか採光や換気が確保できず、大半は照明や空調を使うことになる。万が一の避難所としては難しいのではと思う。それを補うために、ピロティを工夫して幼稚園や児童、地域の人が選挙や避難所として使えるスペースを作れば、地下に体育館があっても良いと思う。(会長)
- ・ピロティの部分で公園とつながると理解しているのだが、全くなくなるということか。(委員)
→左の方でつながるなど議論の余地はあるが、ピロティ部分の活用を考えた方が現実的である。(会長)
- ・公園がネガティブに受け止められているのは悲しい。お茶の水小学校は隣に錦華公園があるということがやはり素晴らしく、錦華公園との連携がプラスになる配置を考えてもらいたいと思ひ③案を支持した。しかし、今や公園は危険な場所とされている。この会の議題ではないが、公園の協議会では公園があることが地域としてプラスになるような設計を考えて欲しい。その意味で、新お茶の水小学校と公園との接続面は確保しておいて欲しい。使い勝手が良いものにして欲しいのはもちろんだが、気持ちとして接続面が欲しい。(委員)
- ・プールが地下で体育館が上なのは不都合なのか。(委員)
→体育館の面積が屋上では取れない。(会長)
- ・北側の四角には入らないのか。(委員)
→乗らないことはないが、他の機能との兼ね合いがあり高層になる。使い勝手がそれで良いのかは検討が必要。(山下設計)
- ・欠席者が地元として避難所、それに類する倉庫類を考えて欲しいと言っていたので考慮して欲しい。(会長)
- ・体育協会から来ている方に、図面にある体育館の運動施設としての評価を伺いたい。(部会長)
→お茶の水小学校の体育館に関してはよく考えられていると思う。プールが上にあると維持費がかかると聞くが、限られた状況なので仕方ない。また、体育館の天井高8mは妥協点かと思っている。講堂と兼用で、何かあった時の避難所にもなると思うので、広さはもう少し望みたいが許容範囲だと思う。ただ、地下なので空調や照明の問題、換気も含めて空気の流れの問題は、専門家に入ってもらって十分に考えて欲しい。機能面、床の材質などについては、専門家の意見を聞きながら議論したい。(体育協会)
- ・プールに関しては何かあるか。(会長)
→プールを使わないときには床を上げて他の競技など多目的に使える全天候型にできるよう屋根を付けて欲しい。深さの問題、飛び込みの問題も色々あるので、公式の競技に使えるかどうかなど踏まえて計画を

して欲しい。詳細が具体的にになった段階で改めて意見を述べたい。(体育協会)

- ・地下体育館は、免震構造が難しく耐震になる可能性が高いことをご理解いただきたい。(事務局)
- ・幼稚園と相談し、プールを可動式にして小学校と一緒に使うことになった点もご理解いただきたい。(会長)
→園児専用プールを置けるのであれば置きたいが、置けないのであれば仕方がない。(部会長)
- ・これからも作業部会を続けて色々な点を詰めていくが、参考として意見があれば述べて欲しい。(会長)
- ・プール、体育館の議論が出たが、新しく利便性が高い施設になると、千代田区の施設なので地域や千代田区のみなさんに開放することになる。運営やセキュリティに関する懸念が増えることをよく周知して、セキュリティや動線のこともしっかり確保したうえで開放する覚悟を決めなければいけない。学校のなかだけで使えれば良いのか、広く千代田区全体に開放する施設なのかの見極めはいると思う。後々、運営が大変にならないように周知をしていかなければいけない。
- ・賛否両論あると思うが、まず学校として使うということを一番にして、それから地域の避難所や選挙の投票所という議論をしてきた。プールや体育館についてはまだ議論をしていなかったなので、念頭に入れて議論をしていきたい。(会長)
- ・作業部会を続けて色々なことを詰めて協議会で判断をいただきたいと思うが進め方として良いか。(会長)
- ・進め方は良いと思うが、作業部会はいつ頃までに作業を終えるのか。全部が納得できることはないと思うが、どのぐらいで収束できると考えているのか。(委員)
→あと2回でまとめたい。(部会長)
- ・次回の日程については後日連絡する。(会長)

以上